

「相互扶助が平和作る」

世界へ宣言発信

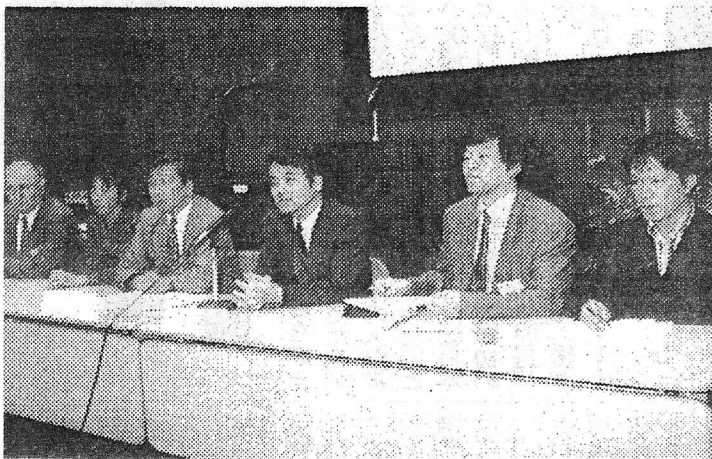
AMD A「県内に国際大学を」 代表会見

「相互扶助」を国際語に……。AMD Aが呼び掛けて岡山国際交流センター（岡山市）で開かれていた「アジア太平洋緊急救援フォーラム」は八日、岡山宣言を採択して閉幕した。世界各国から援助の手が差し伸べられた阪神大震災から九か月。宣言は、相互扶助の精神に基づき理解や信頼、協力が平和を作るとうたった。一堂に会したNGO代表らは、岡山を中心としたネットワークを生み出し、世界へ向けたメッセージを発信した。

三日間の討議で「公的機 欠」（AMD A）や「専門 関とNGOの協力が不可 知識を分け与えて」（パン

グラデシユ）、「地域にあ ぐるノウハウを生かすことが 大切」（アメリカ）などの 意見が出された。分科会で 各NGOが活動内容を報 告、協力体制を話し合った ほか、NGO代表らが交流 の輪を広げた。

閉会后、AMD Aの菅波 茂代表らが記者会見。岡山 市の本部に設置したインタ ーネットのステーション に、各NGOから二次情報 を提供してもらう情報共有 システムを完備、国内緊急 救助態勢を取る「七十二時 間ネットワーク」を発足さ せることや、災害の多い海 外の地域に地震など緊急時 に備えた訓練センター、県 内に「AMD A国際大学」 を設置、救援活動に対応で



岡山宣言の採択後、記者会見する菅波AMD A代表（右から3人目）ら（8日、岡山国際交流センターで）

互扶助でお互いに手を結び 合うと、大きな力となる。 いい試みだと話していた。 菅波代表は「国連や各国政 府とさらに厚い信頼関係を 作り、この地域でAMD A が中心となって活動してい きたいし、その力もあると 思う」と期待している。